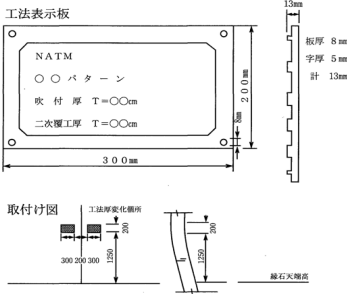
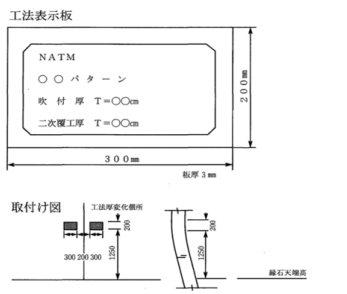
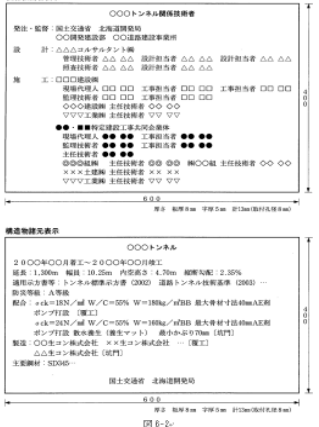
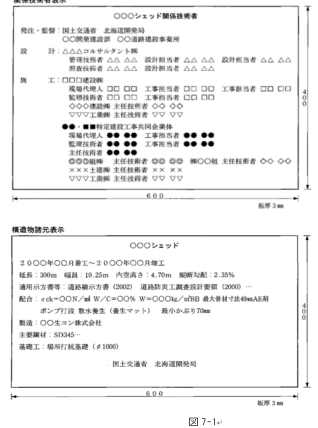


令和7年度 道路・河川工事仕様書 北海道開発局独自 新旧対比表

現行 (令和6年版)	改定案 (令和7年版)																																																																																		
北海道開発局独自	北海道開発局独自																																																																																		
第1編 共通編 1-1-2-27 建設業の現場環境改善	第1編 共通編 1-1-2-27 建設業の現場環境改善																																																																																		
<table><tr><th>対象項目</th><th colspan="4">現場環境改善の内容</th></tr><tr><td rowspan="2">現場環境改善 (労務環境関係)</td><td>照明・電力等の供給設備</td><td>緑化・瓦葺</td><td>トイレ・シャワー設備</td><td>足音減衰及び降子の設置</td></tr><tr><td>作業設備の充実</td><td>作業員の保護</td><td>その他</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">現場環境改善 (労務環境関係)</td><td>現場事務所の快適化 (水・電気等の設備を含む)</td><td>作業員の快適化</td><td>デザインボックス (交通誘導設備関係)</td><td>現場休憩所の快適化</td></tr><tr><td>作業設備の充実</td><td>その他</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">現場環境改善 (安全関係)</td><td>工事関係・防犯安全設備 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (警備関係)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>その他</td></tr><tr><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>その他</td></tr><tr><td rowspan="2">現場環境改善 (安全関係)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>その他</td></tr><tr><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>その他</td></tr></table>	対象項目	現場環境改善の内容				現場環境改善 (労務環境関係)	照明・電力等の供給設備	緑化・瓦葺	トイレ・シャワー設備	足音減衰及び降子の設置	作業設備の充実	作業員の保護	その他		現場環境改善 (労務環境関係)	現場事務所の快適化 (水・電気等の設備を含む)	作業員の快適化	デザインボックス (交通誘導設備関係)	現場休憩所の快適化	作業設備の充実	その他			現場環境改善 (安全関係)	工事関係・防犯安全設備 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (警備関係)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他	現場環境改善 (安全関係)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他	<table><tr><th>対象項目</th><th colspan="4">現場環境改善の内容</th></tr><tr><td rowspan="2">現場環境改善 (労務環境関係)</td><td>照明・電力等の供給設備</td><td>緑化・瓦葺</td><td>トイレ・シャワー設備</td><td>足音減衰及び降子の設置</td></tr><tr><td>作業設備の充実</td><td>作業員の保護</td><td>その他</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">現場環境改善 (労務環境関係)</td><td>現場事務所の快適化 (水・電気等の設備を含む)</td><td>作業員の快適化</td><td>デザインボックス (交通誘導設備関係)</td><td>現場休憩所の快適化</td></tr><tr><td>作業設備の充実</td><td>その他</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">現場環境改善 (安全関係)</td><td>工事関係・防犯安全設備 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (警備関係)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>その他</td></tr><tr><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>その他</td></tr><tr><td rowspan="2">現場環境改善 (安全関係)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>その他</td></tr><tr><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)</td><td>その他</td></tr></table>	対象項目	現場環境改善の内容				現場環境改善 (労務環境関係)	照明・電力等の供給設備	緑化・瓦葺	トイレ・シャワー設備	足音減衰及び降子の設置	作業設備の充実	作業員の保護	その他		現場環境改善 (労務環境関係)	現場事務所の快適化 (水・電気等の設備を含む)	作業員の快適化	デザインボックス (交通誘導設備関係)	現場休憩所の快適化	作業設備の充実	その他			現場環境改善 (安全関係)	工事関係・防犯安全設備 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (警備関係)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他	現場環境改善 (安全関係)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他
対象項目	現場環境改善の内容																																																																																		
現場環境改善 (労務環境関係)	照明・電力等の供給設備	緑化・瓦葺	トイレ・シャワー設備	足音減衰及び降子の設置																																																																															
	作業設備の充実	作業員の保護	その他																																																																																
現場環境改善 (労務環境関係)	現場事務所の快適化 (水・電気等の設備を含む)	作業員の快適化	デザインボックス (交通誘導設備関係)	現場休憩所の快適化																																																																															
	作業設備の充実	その他																																																																																	
現場環境改善 (安全関係)	工事関係・防犯安全設備 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (警備関係)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他																																																																															
	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他																																																																															
現場環境改善 (安全関係)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他																																																																															
	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他																																																																															
対象項目	現場環境改善の内容																																																																																		
現場環境改善 (労務環境関係)	照明・電力等の供給設備	緑化・瓦葺	トイレ・シャワー設備	足音減衰及び降子の設置																																																																															
	作業設備の充実	作業員の保護	その他																																																																																
現場環境改善 (労務環境関係)	現場事務所の快適化 (水・電気等の設備を含む)	作業員の快適化	デザインボックス (交通誘導設備関係)	現場休憩所の快適化																																																																															
	作業設備の充実	その他																																																																																	
現場環境改善 (安全関係)	工事関係・防犯安全設備 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (警備関係)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他																																																																															
	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他																																																																															
現場環境改善 (安全関係)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他																																																																															
	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	交通安全対策 (防犯カメラ・防犯灯等)	その他																																																																															
第3編 土木工事共通編 3-2-3-34 構造物打ち継ぎ目防水工 (スプレー防水)	第3編 土木工事共通編 3-2-3-34 構造物打ち継ぎ目防水工 (スプレー防水)																																																																																		
<table><tr><th>項目</th><th>単位</th><th>規格値</th><th>測定方法</th><th>備考</th></tr><tr><td>引張強さ</td><td>N/cm²</td><td>700 以上 (71.3kg f)</td><td>JIS K 7312-5</td><td></td></tr><tr><td>伸び</td><td>%</td><td>350 以上</td><td>JIS K 7312-5</td><td></td></tr><tr><td>引裂強さ</td><td>N/cm</td><td>300 以上</td><td>JIS K 7312-6</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">一体性 (付着強さ)</td><td rowspan="2">N/mm²</td><td>0.40 以上</td><td>JIS K 6256-2 (ピール試験)</td><td rowspan="2">いずれかの方法で確認し、それ以外の調査により実施する場合は、監督職員と協議すること。</td></tr><tr><td>0.70 以上</td><td>JIS A 6021 (建築防水基準)</td></tr></table> (7) 各塗膜の使用量は、下記を標準とする。 <table><tr><th>材料</th><th>使用量 (kg/m²)</th></tr><tr><td>プライマー</td><td>0.2</td></tr><tr><td>防水塗膜</td><td>5.5</td></tr><tr><td>トップコート</td><td>0.2</td></tr></table> プライマー、仕上げ用塗料の標準使用量は0.3kg/m²とする。	項目	単位	規格値	測定方法	備考	引張強さ	N/cm ²	700 以上 (71.3kg f)	JIS K 7312-5		伸び	%	350 以上	JIS K 7312-5		引裂強さ	N/cm	300 以上	JIS K 7312-6		一体性 (付着強さ)	N/mm ²	0.40 以上	JIS K 6256-2 (ピール試験)	いずれかの方法で確認し、それ以外の調査により実施する場合は、監督職員と協議すること。	0.70 以上	JIS A 6021 (建築防水基準)	材料	使用量 (kg/m ²)	プライマー	0.2	防水塗膜	5.5	トップコート	0.2	<table><tr><th>項目</th><th>単位</th><th>規格値</th><th>測定方法</th><th>備考</th></tr><tr><td>引張強さ</td><td>N/cm²</td><td>700 以上 (71.3kg f)</td><td>JIS K 7312-5</td><td></td></tr><tr><td>伸び</td><td>%</td><td>350 以上</td><td>JIS K 7312-5</td><td></td></tr><tr><td>引裂強さ</td><td>N/cm</td><td>300 以上</td><td>JIS K 7312-6</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">一体性 (付着強さ)</td><td rowspan="2">N/mm²</td><td>0.40 以上</td><td>JIS K 6256-2 (ピール試験)</td><td rowspan="2">いずれかの方法で確認し、それ以外の調査により実施する場合は、監督職員と協議すること。</td></tr><tr><td>0.70 以上</td><td>JIS A 6021 (建築防水基準)</td></tr></table> (7) 各塗膜の使用量は、下記を標準とする。 <table><tr><th>材料</th><th>使用量 (kg/m²)</th></tr><tr><td>プライマー</td><td>0.2</td></tr><tr><td>防水塗膜</td><td>5.5</td></tr><tr><td>トップコート</td><td>0.2</td></tr></table>	項目	単位	規格値	測定方法	備考	引張強さ	N/cm ²	700 以上 (71.3kg f)	JIS K 7312-5		伸び	%	350 以上	JIS K 7312-5		引裂強さ	N/cm	300 以上	JIS K 7312-6		一体性 (付着強さ)	N/mm ²	0.40 以上	JIS K 6256-2 (ピール試験)	いずれかの方法で確認し、それ以外の調査により実施する場合は、監督職員と協議すること。	0.70 以上	JIS A 6021 (建築防水基準)	材料	使用量 (kg/m ²)	プライマー	0.2	防水塗膜	5.5	トップコート	0.2												
項目	単位	規格値	測定方法	備考																																																																															
引張強さ	N/cm ²	700 以上 (71.3kg f)	JIS K 7312-5																																																																																
伸び	%	350 以上	JIS K 7312-5																																																																																
引裂強さ	N/cm	300 以上	JIS K 7312-6																																																																																
一体性 (付着強さ)	N/mm ²	0.40 以上	JIS K 6256-2 (ピール試験)	いずれかの方法で確認し、それ以外の調査により実施する場合は、監督職員と協議すること。																																																																															
		0.70 以上	JIS A 6021 (建築防水基準)																																																																																
材料	使用量 (kg/m ²)																																																																																		
プライマー	0.2																																																																																		
防水塗膜	5.5																																																																																		
トップコート	0.2																																																																																		
項目	単位	規格値	測定方法	備考																																																																															
引張強さ	N/cm ²	700 以上 (71.3kg f)	JIS K 7312-5																																																																																
伸び	%	350 以上	JIS K 7312-5																																																																																
引裂強さ	N/cm	300 以上	JIS K 7312-6																																																																																
一体性 (付着強さ)	N/mm ²	0.40 以上	JIS K 6256-2 (ピール試験)	いずれかの方法で確認し、それ以外の調査により実施する場合は、監督職員と協議すること。																																																																															
		0.70 以上	JIS A 6021 (建築防水基準)																																																																																
材料	使用量 (kg/m ²)																																																																																		
プライマー	0.2																																																																																		
防水塗膜	5.5																																																																																		
トップコート	0.2																																																																																		
第6編 河川編 6-3-8-5 銘板工 2. 銘板の材質はブロンズを原則とし、寸法及び記載事項は下図のとおりとする。	第6編 河川編 6-3-8-5 銘板工 2. 銘板の材質は表面に透明の高耐候性フィルムにより被覆したアルミニウム板 (JIS H 4000 A 5052P) とし、寸法及び記載事項は下図のとおりとする。																																																																																		
第10編 道路編 10-1-7-7 補強土壁工 2. 銘板工 表示板の材質はJIS H 2202 (鋳物用銅合金地金) による鋳鉄を使用し、寸法及び記載事項は図1-1-1によるものとし、起点側に取り付けを原則とし、取り付け高さはGLより1.4m程度とする。	第10編 道路編 10-1-7-7 補強土壁工 2. 銘板工 表示板用いる材質は、表面に透明の高耐候性フィルムにより被覆したアルミニウム板 (JIS H 4000 A 5052P) を使用し、寸法及び記載事項は図1-1-1によるものとし、起点側に取り付けを原則とし、取り付け高さはGLより1.4m程度とする。																																																																																		

令和7年度 道路・河川工事仕様書 北海道開発局独自 新旧対比表

現行 (令和6年版)	改定案 (令和7年版)
北海道開発局独自	北海道開発局独自
10-6-5-1 一般事項 5. 工法標示板の材質は、JIS H 2202 (鋳物用銅合金地金) とし、下図を標準として取付けなければならない。  図 6-1-1	10-6-5-1 一般事項 5. 工法標示板の材質は、表面上に透明の高耐候性フィルムにより被覆したアルミニウム板 (JIS H 4000 A 5052P) とし、下図を標準として取付けなければならない。  図 6-1-1
10-6-8-6 銘板工 1. 受注者は、銘板の作成については、材質JIS H 2202 (鋳物用銅合金地金) を使用し、寸法、記載事項は、図6-2-1によらなければならない。  図 6-2-1	10-6-8-6 銘板工 1. 受注者は、銘板の作成に用いる材質は、表面上に透明の高耐候性フィルムにより被覆したアルミニウム板 (JIS H 4000 A 5052P) を使用し、寸法、記載事項は、図6-2-1によらなければならない。  図 6-2-1
10-7-6-5 銘板工 1. 受注者は、銘板の作成については、材質JIS H 2202 (鋳物用銅合金地金) を使用し、寸法、記載事項は、図7-1-1によらなければならない。  図 7-1-1	10-7-6-5 銘板工 1. 受注者は、銘板の作成に用いる材質は、表面上に透明の高耐候性フィルムにより被覆したアルミニウム板 (JIS H 4000 A 5052P) を使用し、寸法、記載事項は、図7-1-1によらなければならない。  図 7-1-1

令和7年度 道路・河川工事仕様書 北海道開発局独自 新旧対比表

現行（令和6年版）	改定案（令和7年版）
北海道開発局独自	北海道開発局独自
10-8-7-5 銘板工 1. 受注者は、銘板の作成については、材質JIS H 2202（鋳物用銅合金地金）を使用し、寸法、記載事項は、図8-1によらなければならない。	10-8-7-5 銘板工 1. 受注者は、銘板の作成に用いる材質は、表面に透明の高耐候性フィルムにより被覆したアルミニウム板（JIS H 4000 A 5052P）を使用し、寸法、記載事項は、図8-1によらなければならない。
関係技術者表示 〇〇〇シェッド関係技術者 発注：監督：国土交通省 北海道開発局 〇〇関係建設課 〇〇道路建設事業所 設計：△△△コンサルタント 管理技術者 △△ △△ 設計担当者 △△ △△ 調査技術者 △△ △△ 設計担当者 △△ △△ 上部工施工：□□建設課 現場代理人 □□ □□ 工事担当者 □□ □□ 監督技術者 □□ □□ 工事担当者 □□ □□ 〇〇〇建設課 主任技術者 〇〇 〇〇 ▽▽▽工務課 主任技術者 ▽▽ ▽▽ 下部工施工：●建設課 現場代理人 ●● ●● 工事担当者 ●● ●● 監督技術者 ●● ●● 工事担当者 ●● ●● 主任技術者 ●● ●● 〇〇〇建設課 主任技術者 〇〇 〇〇 ▽▽▽工務課 主任技術者 ▽▽ ▽▽ 6.0.0 単位：板厚 3mm 字幅 3mm 計13mm(取付孔径8mm) 構造物諸元表示 〇〇〇シェッド 2.0.0.0年〇〇月竣工～2.0.0.0年〇〇月竣工 延長：300m 幅員：10.25m 内容高さ：4.70m 縦断勾配：2.35% 適用仕方等：道路橋示方書（2002） 配合：α&β=〇〇N/㎡ W/C=〇〇% W=〇〇〇kg/㎡(注) 最大骨材寸法40mm(AE則) ポンプ打設 数本養生（養生マット） 最小ホールド70mm 製造：△△△工務株式会社 主要鋼材：SM490 SS400- 高麗工：橋脚打杭基礎（F1000） 国土交通省 北海道開発局 6.0.0 単位：板厚 3mm 字幅 3mm 計13mm(取付孔径8mm) 図 8-1-1	関係技術者表示 〇〇〇シェッド関係技術者 発注：監督：国土交通省 北海道開発局 〇〇関係建設課 〇〇道路建設事業所 設計：△△△コンサルタント 管理技術者 △△ △△ 設計担当者 △△ △△ 調査技術者 △△ △△ 設計担当者 △△ △△ 上部工施工：□□建設課 現場代理人 □□ □□ 工事担当者 □□ □□ 監督技術者 □□ □□ 工事担当者 □□ □□ 〇〇〇建設課 主任技術者 〇〇 〇〇 ▽▽▽工務課 主任技術者 ▽▽ ▽▽ 下部工施工：●建設課 現場代理人 ●● ●● 工事担当者 ●● ●● 監督技術者 ●● ●● 工事担当者 ●● ●● 主任技術者 ●● ●● 〇〇〇建設課 主任技術者 〇〇 〇〇 ▽▽▽工務課 主任技術者 ▽▽ ▽▽ 6.0.0 単位：板厚 3mm 構造物諸元表示 〇〇〇シェッド 2.0.0.0年〇〇月竣工～2.0.0.0年〇〇月竣工 延長：300m 幅員：10.25m 内容高さ：4.70m 縦断勾配：2.35% 適用仕方等：道路橋示方書（2002） 配合：α&β=〇〇N/㎡ W/C=〇〇% W=〇〇〇kg/㎡(注) 最大骨材寸法40mm(AE則) ポンプ打設 数本養生（養生マット） 最小ホールド70mm 製造：△△△工務株式会社 主要鋼材：SM490 SS400- 高麗工：橋脚打杭基礎（F1000） 国土交通省 北海道開発局 6.0.0 単位：板厚 3mm 図 8-1-1